平成 30 年度 事務事業評価シート											福祉部	i	課名	福祉課	
	事務事業名 老人クラブ活動費補助事業									課長名	中村 稔	課直	通電話	048-594-5534	
概要										課にお	ける業務割合 5.0%				
	第五次総合振興計画 前期基本計画の位置付け 其本			策 2-3 高齢者福祉の充実					主な	基本事業 2-3-1 生きがいと社会参加の促進					
	則期差	基本事業指標	生さかいを持つている局齢者の割合												
	創生絲	基本目標 と 施策	Ⅲ ともに支え合う地域をつくり、市民の暮らしを守る 1 誰もがいきいきと健康に暮らし続けるための仕組みづく										の仕組みづくり		
	根拠			市老人クラブ補助金交付要綱 毎パス利用補助金交付要綱 個別計画											
	目的	行うことで、教養の向 福祉増進を図ることを	3					健康	ど人クラブ単会、老人クラブ連合会への補助金交付 建康づくり事業、講演会、演芸会への補助と事業支援 バス利用補助による研修支援						
		対象者	√市民	企業	団体	議会	職員								
計画		単位		(H	前年度 実施 (H29) (H:			年度 (1)	計画 (R2)	年度 (R3)	将来目標 (R )		指標 区分		
				目標 実統	票値 責値									活動指標	
	60歳以上老人クラブ加入比率					0% 90%	7.5		0%	10%	10%	10%		成果指標	
	事務事業のコスト(単位:千円)														
実施				平和			実施年度 今年 (R1)		<b>—</b>	計画年度(見2 )見込 (R3)			備考		
	総事業費 総事業費人ロー人当たり(円)			13,002 — 193 —		11,411 - 170 -			-		- 【決算額の増減理由】				
	秘事を		7,890 6,908			6,490 6			0	0					
		国庫支出金 県支出金		758	708	F	648			0		■【少切る質に仮えばて、本田、総地生の方			
	内訳	地方債		700	700					ŭ	無】				
		その他特財 一般財源		660	6.200	•		0 5.535		0 0					
	業務割合に基づく事業人件費			,112	-	<del>-</del> 4,9		<u> </u>		- L		. <del></del>			
	課	業務割合 の年間人件費(概算)	5% — 5% 2.253 — 98,428			5% -28			 		宋·任·七·福·位·				
	D.				事業の目標			设定した 目	目標に	対する取組と	:成果)				
評	事務事業の目標に対する実績(設定した目標に対する取組と成果) 老人クラブ広報誌等を利用し、多くの高齢者へ加入の呼びかけを行ったが、老人クラブの解散などによって、前年度より加入率が微減した。今後は新規加入者が参加しやすいような教養講座や健康増進活動を幅広く実施し、60歳以上老人クラブ加入比率を高めていきたい。														
価・	= <b>亚/</b> 莱	✓ 継続 →		業の活動(回数、範囲など) 業の実施方法				拡大		編小 ✓ 現状維		✓ 現状維持 その他 ( )			
改善	評価	<u></u> 終了	Let on	カ美胞万法 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				」改善効率化 」 増額		□ 現状稚		現状維持	)		
善		今後の方向性(課題と対応)													
		齢化が進む中で、全国的にも老人クラブ会員数は減少傾向となっている。高齢者の方に老人クラブに積極的に入ってもらえるよう、老人クラブのPR活動 介護予防等の健康講座など幅広い活動を行うことで、老人クラブ加入比率を高めていきたい。													